

**研究主題** 「道徳的諸価値について、自ら考えたい！  
伝えたい！深めたい！と思える児童の育成」

～つながりを意図した道徳教育の実践を通して～

所沢市立並木小学校

### 1 研究主題の設定理由

本校は、「自分の考えを伝えることが苦手な児童が多い」という実態から、昨年度「話し合い活動の充実」を目指して特別活動の研究を行った。今年度は道徳科においても児童が思いを伝える活動を大切にしていきたいと考えた。そのためには、児童が自ら考えたい、伝えたいという主体的な思いをもつことが重要である。

また、児童の主体的な思いを育む上では、道徳科を要とした道徳教育の充実も重要であるが本校では、「多くの教育活動」「他の教科・領域」「道徳科」の補充・深化・統合が不十分であることが現状であり、児童が自己を見つめる時間に自分の経験を振り返ることが難しいという課題がある。

そこで、本校の小規模校ならではの活動・立地、各教科の特質を踏まえ、教師も児童もつながりの中で道徳的諸価値への理解を深めていくことにより児童が自分事として道徳的価値を捉えることや、自己を見つめることの充実も図られると考え、本主題を設定した。

### 2 研究の仮説

- (1) 児童の発達段階や実態を踏まえ「意図を明確にした授業」を行えば、児童が自ら考えたい、伝えたい、深めたいという意欲をもって学習に取り組むことができるであろう。
- (2) 「並木小特別葉」に基づく授業を行えば、道徳教育における道徳科と各教科・領域等とのつながりを意識でき、より自分事として道徳的諸価値について考えることができるであろう。

### 3 研究の経過

月	実施内容
4月	研究組織と本年度の内容確認及び全教職員への共通理解
5月	校内理論研修会の実施（指導者（市内校長）招聘） 道徳だよりの発行
6月	道徳推進教員の授業見学
7月	道徳アンケート集計・分析
8月	「並木小特別葉」の作成
10月	研究発表会・講演会（指導者招聘・他校教員参加）

## 令和5年度埼玉県道徳教育研究推進モデル校 実績報告書

11月	第59回全国小学校道徳教育研究大会参加（函館市立鍛神小） モデル校研究発表参加（朝霞第五中） 校内理論研修会（指導者招聘） 校内授業研究会（低学年）の実施（指導者招聘）
12月	先進校授業見学（中野区立令和小） 校内授業研究会の実施（中学年）（指導者招聘） 校内理論研修会（短時間）（指導者招聘） 2学期道徳アンケート集約
1月	2学期道徳アンケート分析 校内授業研究会（高学年）の実施（指導者招聘）
2月	第45回全国道徳特別活動研究大会参加 （八王子市立横山第二小） PDCAサイクルによる次年度の研修計画の検討
3月	来年度に向けての研究推進委員会

### 4 研究の内容

本校では今年度の重点内容項目を「生命の尊さ」とし、研究を進めてきた。毎日の授業実践はもちろん、学期に1回の校内授業研究会を開いたり、指導者や市内の先生方を招いた研究発表会を行ったりした。また、指導者を招聘して、校内研修会や指導案検討などを行い、道徳に関する知識や指導方法をご教授いただいた。

#### (1) 校内授業研究会・協議会



【11/29】低学年 彩の国の道徳  
『たいせつな たからもの』



【12/4】中学年  
『ひきがえるとロバ』



【1/17】高学年  
『電池が切れるまで』

#### (2) 研究発表会（10/10）



低学年ブロック  
『ハムスターの赤ちゃん』



中学年ブロック  
『おばちゃん、がんばれ』



高学年ブロック  
『その思いを受けついで』

# 令和5年度埼玉県道徳教育研究推進モデル校 実績報告書

## (3) 研修会（講義・指導案検討）



聖徳大学名誉教授 吉本恒幸先生  
 所沢市立中央小学校 岡崎秋世校長先生 を招聘しての 御講義

## (4) その他の取り組み

### ○環境整備

#### ①自分の考えや思いを伝えるために活用したツール



ペープサート



心メーター (ICT)

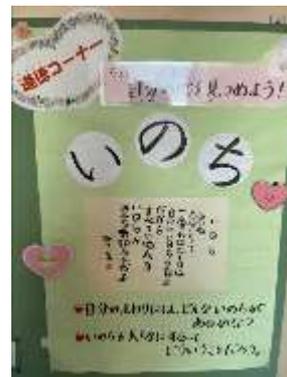


ホワイトボード

#### ②掲示物

- ・全クラス『道徳のあゆみ (板書)』の設置 (左)
- ・職員室前の道徳コーナーの設置 (右)

こんな授業した  
 ね！と振り返って  
 いる児童が多数。



### ○並木小特別葉・いのちのプログラム

- ・「並木小特別葉」の作成  
 別葉から本校の重点内容項目「生命の尊さ」に特化した学年ごとの特別な別葉
- ・各学年「特別葉」に基づく「命のプログラム」の作成・実施
- ・全クラスで「命のオリエンテーション・命のアンケート」実施
- ・全校で「命のノート」を使用



# 令和5年度埼玉県道徳教育研究推進モデル校 実績報告書

## ○自主研修

- ・研究主任による、自主参加制の「道徳科授業づくりの基本研修」・「各クラスでの道徳授業づくり研修」
- ・道徳授業づくりシートの活用



## ○家庭・地域との関わり

- ・「道徳通信」の配布
- ・全クラス、保護者に向けて年に1回の道徳授業公開



## 5 研究の成果と課題

### (1) 成果

#### ①意図を明確にした授業

- ・明確な意図をもって、学習指導過程を組めるようになってきた。
- ・明確な意図や目的に基づく、教材提示(場面絵、ペープサート、動画の活用)・発問・問い返しにより、児童の考えをより広げたり深めたりできた。

#### ②「並木小特別葉」に基づく授業

- ・重点内容項目が分かりやすくなり、学校全体で重点である「生命の尊さ」を意識して教育活動を進めることができた。
- ・授業外でも生命の尊さについて考える児童の姿や「命のノート」に記入している児童の姿も見られた。

#### ③「規律ある態度」達成目標アンケート

	令和5年4月	令和6年1月
『整理整頓』	77.6%	80%
『時刻を守る』	94.5%	96%
『正しい言葉遣い』	91.4%	92%

### (2) 課題

#### ①意図を明確にした授業

- ・校内研修の時間を確保するのが難しく、十分な共通理解を図れなかった。来年度は、全員で教材分析や学習指導案検討をしたり、課題に対して本音で語り合えたりできる時間や場所を確保していく。そのために短時間で効率的に行える工夫を行い、コミュニケーションの機会を増やしていく。

#### ②「並木小特別葉」に基づく授業

- ・「命のノート」の活用から、他教科等で「生命」に関わる学習をした際に、児童なりに道徳科の授業と結び付けて考えていた。しかし、ノート記述の内容を分析したり、どのように関連させれば指導の効果を高めたりできるのかという共通理解が図られていなかった。